

2017.18シーズン安全報告書
パルコールつま恋スキーリゾート

ブリーズベイオペレーション6号株式会社

【お客様各位へ】

「パルコールつま恋スキーリゾート」を日頃よりご愛顧賜り御礼申し上げます。

各索道は5年整備計画を策定し、順次実施しているところです。

運行時のオペレーションにおいても、例年冬季従業員として就労していただく方々にも安全に対する意識を啓蒙、また、救助訓練も実施しています。
近年は、気象状況が急変し大雪、強風等の発生の頻度が増えています。このようなことにもどのように対処していくかがポイントであり、安全統括管理者、索道技術管理者も的確な情報得て、安全運行していくよう心掛けております。
また、グリーンシーズンの雷、台風などの被害も極力最小限に収まるよう創意工夫をし対処しています。

百名山「四阿山」(あづまやさん)の麓に平成2年より開場し、ゴンドラ1基、クワッドリフト2基、ペアーリフト2基を所有。山麓1,450m～2,101mの山頂まで4.5kmの粉雪の上をロングクルージング満喫頂けます、また、ファミリーにはファミリーランドパーク(チュービング、そり遊び、エア遊具、スノーモービル等)スキー場として楽しんでいただきつつ「お客様の安全」「従業員の安全」を第一に法令の遵守は元より安全輸送に努めております。

本報告書は、事業者として鉄道事業法に基づき、安全輸送確保に取り組んでいる状況を公表し、且つ安全に対する意識を常にもって、索道事業に取り組んでおりますので、今まで以上にご理解賜りますようお願い申し上げます。

ブリーズバイオペレーション6号株式会社
代表取締役 津田則忠

1、輸送の安全を確保するための運営の基本的な方針

①基本方針

弊社の索道事業に対する基本理念は「安全第一」です。

お客様には、いろいろな索道経験から安全第一を提供する。このため
従業員の安全意識を啓蒙および教育し事業活動を行える体制の整備に努めております。

②安全目標

索道輸送安全目標は下記のとおりです。

- 1)設備不具合による事故を未然に防ぎ、万一事故が発生した場合でも迅速かつ的確な対応を行う。
- 2)人身事故は発生させない。

2、事故の発生状況

①索道運転事故

平成28年度において索道人身障害事故はありません。

②災害

平成28年度において災害による運行停止はありません。

尚、強風のためゴンドラは 6日間運行停止しました。

他リフトについては 運行できない物もあったものの完全クローズ日はありませんでした。

③インシデント（事故の兆候）

平成28年度において国土交通省へのインシデント報告はありません。

④行政指導等

平成28年度において関東運輸局からの行政指導はありません。

3、輸送安全のための取組

①人材教育

弊社では過去の経験よりお客様の「安全確保」のため、冬季シーズン開始前に索道技術管理員を対象に、施設および取扱について安全教育を実施しています。
また、スキーセンター従業員も参加させ索道事業の意識、連携を教育しております。
特にゴンドラにおいては、乗車係りと降車係りを分離してそれぞれの係りを配置および無線携帯を義務付けその教育を徹底しています。

②緊急時の対応訓練

毎年度の計画書に基づき、ゴンドラ、リフトの救助訓練を実施しております。
別添の訓練写真参照下さいませ。
また、AEDを冬季シーズンはパトロール室に用意しております。

③安全のための投資と支出

毎年度、安全維持管理および向上のために今年は営業収入のおおよそ30%の予算をメンテナンス費用に充てています。

4、安全管理体制

安全管理体制は社長をトップに下記のように構築し、各責任者の責務を明確にしています。

5、ご意見

安全報告書に関するご意見ご感想については下記へお寄せくださいますようお願い申し上げます。

〒377-1611

群馬県吾妻郡嬭恋村大字大笹字太平1832番地の1

パルコールつま恋スキーリゾート 総務部宛

TEL 0279-96-1177 fax 0279-96-1414